

H20多建発第241号

平成20年10月8日

国土交通省

道路局長 金井 道夫 殿

香川県多度津町長 小 國 宏



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

本町の道路事業につきまして、日頃からご指導、ご助力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本町の道路整備事業は、地域経済の活性化や豊かな生活の実現の形成にとって欠くことのできない最も重要な社会基盤施設です。

瀬戸内海に面した本町は、地域活性を求めて企業誘致に熱心に取り組んでおり、道路整備の必要性を痛感しています。

また、急速に進む少子・高齢化や高度情報化などの社会経済の変革に対し、安全で安心できる生活を確保するためにも道路整備が果たす役割は、一層重要となっています。

つきましては、新たな中期計画の策定をされるにあたりましてでき得る限り、本要望、提案に基づき、道路整備財源の確保をお願いするとともに本町の実情を考慮いただき、都会と地方に格差が生じないよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

香川県多度津町

本町の道路網は、四国の道路体系の骨格である国道 11 号線から分岐している県道善通寺・多度津線と、東西交通を担う丸亀・詫間・豊浜線の、主要地方道 2 路線を中心に整備しました。

その後、埋め立て事業により、臨海工業地帯を形成し、大規模な企業誘致を行うことによって、大幅な税収の増加をみることができました。そして、臨海工業地帯と丸亀・高松を結ぶ、さぬき浜街道が開通したことにより、町内外からの通行量も増大しています。しかし、本町西端の新設される、さぬき浜街道が完成していないため、一部で交通渋滞が発生し、通勤者、高齢者や子供の通行も大変危険な状況にあります。

この幹線道路は、地域の持続的な発展やさらには、地域活性化を求めて行く上でも欠くことのできない主要道路であり、早期完成を要望します。

本町は、地方交付税の削減によって、投資的経費の縮減を図らざるを得ない状況にあり、道路事業の予算縮小や事業の延伸を余儀なくされています。また、周辺の宅地開発が進み、まだまだ道路の新設や拡幅が必要な路線が多くあり、老朽化や交通量の増加のため、道路維持補修が、必要な道路も増加しており、町単独の維持管理予算の確保が、難しい状況となっています。よって、道路維持管理への補助制度の創設を強く要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

香川県多度津町

○現状

本町は、地方交付税の大幅な削減や法人町民税収入の減少等により、歳入の確保が困難となる一方、福祉における扶助費の増加や、教育施設・道路等の維持管理費の増加により、大変厳しい財政運営を行っています。

特に道路事業については、事業の縮小や延伸計画の見直しを余儀なくされています。しかし、道路整備は、住民生活や企業にとって、最も重要な社会基盤施設であります。

本町は、周辺部の宅地化が進み、交通事情が変化していることに伴い、道路の新設が必要不可欠となっています。

公共交通機関が整備できていない地域においては、車なくしては日常の生活が成り立たないのが現状です。

○課題

本町は、平成 19 年度末現在、総延長約 144 キロメートルの町道整備をしました。

町道の新設により、周辺部の整備が進んでいます。企業誘致も成功し、その数も増加しています。また、宅地造成も順調に行われています。

しかし、本町におきまして、幹線道路（さぬき浜街道）の一部供用開始ができていません。この幹線道路は、地域の持続的な発展に欠くことのできないものであり、早期完成に向けて取り組まなければなりません。

また、地域の生活道は、老朽化により維持補修が必要な道路が増加しています。この維持管理費用に毎年莫大な費用が必要であり、町単独事業であるため、財政に負担がかかっています。道路の維持管理は、住民の生命・財産を守る上で、必要不可欠な課題です。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

香川県多度津町

本町の道路整備は、町道の新設により地域開発が進んでいます。また、臨海工業地帯を有する町として、経済的な発展を遂げてきました。しかしながら、主要幹線道路の一部が供用開始できておりません。この道路の整備は、地域の継続的な発展に欠くことのできない最も重要なものです。

この道路を早期に完成させることにより、地域の生活道路を結ぶ道路ネットワークの整備が可能となります。道路整備は、住民生活における広域医療及び福祉サービス、地場産業の発展には欠かすことのできない社会資本整備です。今後も、社会・経済環境に対応した臨海工業地帯をさらに発展させていきたいと考えています。

一方、周辺の地域において、本町は、『環境のまち』宣言をし、町づくりの基本姿勢として、自然環境に恵まれた美しい景観を守りながら、主要幹線道路と生活道路をアクセスさせることにより、車社会に対応し、若い人達に住みよい町、高齢者の人達にとっても安心・安全で心豊かに暮らせる町づくりに取り組みたいと思います。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

香川県多度津町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上 ・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ さぬき浜街道（町道 1 号線）の供用開始による企業誘致に成功した。 ・ 町道川西阿庄線を地方道路整備臨時交付金制度で整備することによる、地元生活道路や幹線道路との広域的かつ安全な道路ネットワークの整備をする。	・ 地方における産業立地の推進が可能になった。 ・ 企業集積地、大消費地、空港、港湾などと地方を結ぶ主要幹線道路となる。 ・ 慢性的な交通渋滞の解消が可能となる。 ・ 生活道路と幹線道路のネットワークの形成を行う。	